

報道関係各位

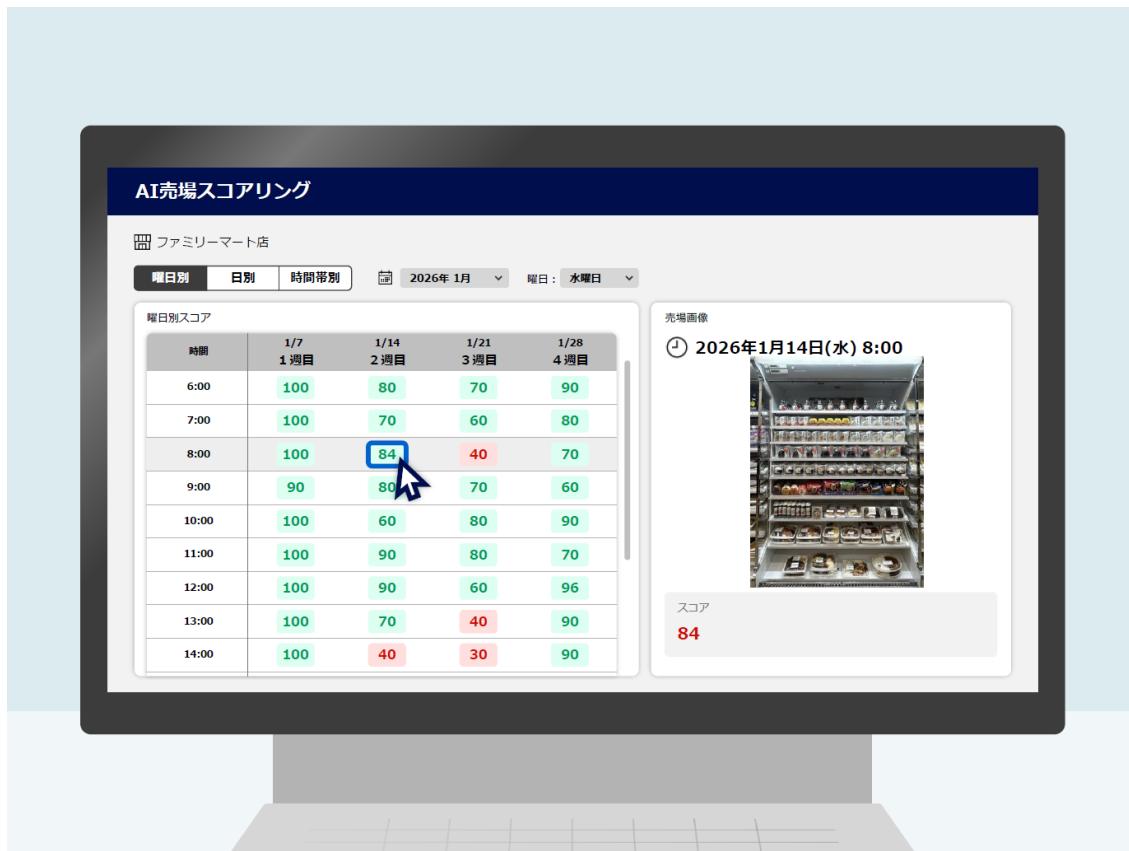
株式会社ファミリーマート

AIを活用した新たな店舗運営支援

「AI売場スコアリング」の実証を開始

～売場を点数化して分析し最適な品揃えを推進～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、店舗に設置している防犯カメラで売場を撮影し、AIで売場の状態を点数化する新たな店舗運営支援システム「AI売場スコアリング」の実証実験を、2026年1月中旬から首都圏の一部店舗で開始します。本取り組みを通じ、店舗の業務効率化に加え、品揃えの最適化と販売機会の最大化を目指してまいります。



※画像やスコアはイメージです。

■売場を点数化する「AI売場スコアリング」で発注精度向上

現在店舗に設置している防犯カメラの映像と、AIによる画像解析技術を連携させることで、店舗での最適な売場の実現とスーパーバイザー（以下：SV）の業務効率化に繋げてまいります。

①あらかじめ設定した時間に売場画像を撮影し、画像データを蓄積

おむすびの売場を毎日決められた時間に撮影することで売場画像を蓄積し、それらを表にまとめデータ化します。毎日の同時間帯の売場画像を見ることができるため、時間や曜日ごとの発注や売場づくりの課題を具体的に把握できます。

②AI が膨大な画像データから売場のスコアリングを行い定点観測レポートを作成

蓄積した画像データに基づき、売場ボリュームの点数化を実施します。曜日別、日別、時間帯別の 3 つの項目で実施し、画像と点数を基に定点観測レポートを作成します。これは売場を店長と SV が客観的に見ることに役立ちます。

これらの機能を活用し、SV の巡回時に売場画像と点数を確認しながら店舗の課題を店長と具体的に話し合い、発注や売場づくりに繋げます。また、店長が店舗に不在の間も売場の様子を画像で把握できるため、実際の状況に基づいた発注が可能となり、発注精度の向上に貢献します。

将来的には、多機能型ロボット（ボム）にカメラを搭載し、「AI 売場スコアリング」に活用するとともに、既存の AI 発注システムや、人型 AI アシスタント「レイチェル」と連携させ、分析や発注提案も AI で自動化し、すべての売場において、発注・売場づくりのさらなる効率化を目指してまいります。

※本目的では、個人情報が含まれる売場画像は利用しません。

以上